

市政ニュース

市行革委員会が市長に大綱案を答申

4年間で約16億円の経費削減

9月25日、市行革委員会委員長 石原俊彦・関西学院大学教授が、中貝市長に豊岡市行政改革大綱案を答申しました。

同委員会は、昨年10月に公募委員2人を含む11人のメンバーで発足し、市長からの諮問を受けて、これまで会議を度重ねて開催し、行革について議論を深めてきました。

その結果、財政構造改革の推進、事務事業の整理合理化、各種団体などに交付している補助金などの見直し、民間活力の導入、市民との協働、職員の定員削減などにより、平成21年度までに約16億円の経費を削減することを盛り込んだ大綱案をまとめました。

現在、市では、この答申内容を、第2回目となる行革タウンミーティング（市内6会場で開催）で市民の皆さんに説明し意見交換しています。

その後、最終的に市長と部長級職員などで構成する行政改革本部で答申を検討し、11月中に豊岡市行政改革大綱および豊岡市行政改革実施計画を策定する予定です。

なお、答申の要点をまとめたチラシを今回の市広報とあわせて配布していますので、ぜひ、ご覧ください。



▶市長に答申する石原委員長

豊岡消防署出石分署但東駐在所を開設

但東地域の救急体制が整う

但東地域の救急業務を担う豊岡市消防本部豊岡消防署出石分署但東駐在所を但東総合支所2階に設置することに伴い、10月1日、開所式を行いました。

同地域にはこれまで救急車が配置されておらず、救急要請があった場合は出石分署から出動していました。

駐在所には常時3〜4人の消防職員が24時間体制で常駐し、一般公募によって命名さ



▶開所式では、駐在所に配置される10人の職員が紹介された

市役所南庁舎別館が国登録有形文化財に ルネッサンススタイルの銀行建築

このほど市役所南庁舎別館が国登録有形文化財になることが決定しました。

この建物は、昭和9年、昭和の名建築家・渡邊 節の設計により兵庫縣農工銀行豊岡支店として建設されたもので、鉄筋コンクリート造2階建て、建築面積は495平方メートルです。ピラスター（壁柱）を並べた重厚な外観を持ち、当時、通りを挟んで相対

する郵便局（現市役所南庁舎）とともに「中央街路（大開通り）の偉観」と称されました。

以後、日本勧業銀行、扶桑相互銀行、山陰合同銀行として使われ、その後、市が買い取り、平成17年4月からは、商工観光部や北但行政事務組合の事務所として利用しています。

なお、新「豊岡市」としては、「赤木家住宅」に続き、



▶建物の角には水平の目地が施され、建物全体を引き締めている

2番目の国登録文化財となります。



▶但東駐在所に配備された高規格救急自動車「きぼう」

れた高規格救急自動車「きぼう」1台を配備しています。貝谷駐在所長は、「但東駐在所職員10人が一丸となつて、但東地域の皆さんの安心と安全のため、期待に応えられるよう努力します」と話していました。

空フェス実行委員会がFAI団体賞を受賞

航空スポーツの発展に貢献

9月20日、コウノトリ但馬空港フェスティバル実行委員会が、国際航空連盟（FAI）の「オノラリー・グループ・ディプロマ」賞を受賞することが決定しました。

同賞は、航空や宇宙飛行の発展に貢献した団体に贈られる賞で、コウノトリ但馬空港フェスティバルやスカイ・レ

ジャー・ジャパンとの共同開催により航空スポーツの発展に貢献したことが高く評価されました。

なお、これまで佐賀バルーンフェスタの佐賀県佐賀市やスカイフェスタの宮崎県都城市、熱気球ジャパンホンダグランプリなどが同賞を受賞しています。

R178セーフティ但丹作戦 府県境を越え交通安全啓発

秋の全国交通安全運動がスタートした9月21日、京丹後市久美浜町の国道178号待避所で、豊岡市と京丹後市合同による「R178セーフティ但丹作戦」と題した交通安全キャンペーンが行われました。

これは、府県境を越えて安全意识の高揚と交通事故防止をドライバーや住民に訴えるために合同で取り組まれたものです。

当日は、両市の交通安全協会会員や警察署員、市職員な



▲ドライバーに甘栗と梨の入った啓発グッズを渡し、交通安全呼びかけ

ど約80人が参加して、さわやかな秋空の下で、「ゆっくり走って事故はなし」にかけて、甘栗と梨が入った啓発グッズが通行車両300台に手渡されました。

防災・危機管理担当幹部職員を採用

元自衛官採用で防災・減災体制の充実

10月1日付で、防災・危機管理担当幹部職員（総務部参事）として、元自衛官の北垣哲夫さん（56歳）を採用しました。

これは、災害全般に対する知識を有し、災害対策を総合的に練り上げる見識と指導力を持ち合わせた人材を確保し、本市の防災・減災体制のさらなる充実を図ろうとするものです。

北垣参事は、今年9月に自衛官を退職するまで、中部本部総監部、北部中央航空副隊長などの要職を務め、阪神淡路大震災や釧路沖地震など多くの災害にも派遣出動してきました。

就任にあたって北垣参事は、「自衛隊の経験を活かし、新たな視点で防災・減災の職務を遂行します。また、市民の皆さんに知恵をいただきたい

地域防災計画が完成

地域や住民の役割についても明記

9月13日、県知事との協議を終えて、豊岡市地域防災計画が完成しました。

本計画は、昨年からの市民の皆さんにも加わっていたいた防災会議で検討を続けてきたもので、平成16年の台風23号の教訓や今年1月に実施した防災・減災を語る会での市民の意見などを反映させています。

また、「みんなの力で命と暮らしを守る」ということを

防災ビジョンに掲げ、災害発生時から復興までの対策計画を示すとともに、行政などの防災関係機関や区・自主防災組織などの役割について記載しています。

なお、本計画のダイジェスト版を広報とよおか10月10号とあわせて各戸配布していますので、6月に配布した防災マップとあわせて、ぜひ、ご覧ください。



北垣 哲夫
総務部参事

から仕事を進めていきたいと思えます」と抱負を述べました。

市役所人事異動

10月16日付、係長以上
()内は前職

《市長事務部局》

- 課長級
- ▼国体推進部国体推進課長兼課長補佐兼調整係長 堂垣一博（国体推進部国体推進課長）
- 課長補佐級
- ▼企画部企画課主幹 田中道男（国体推進部国体推進課長補佐兼調整係長）